

シャンティ山口 ニュースレター 第117号

発行：2015年3月31日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

平成26年度(2014年) ダイジェストレポート (前期分)

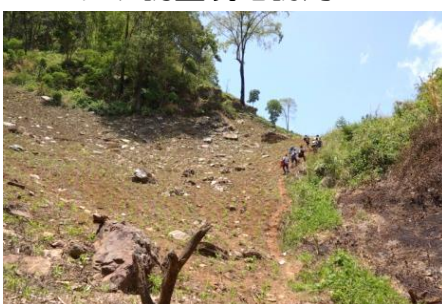
2014.11.20

報告事項

- ・平成26年(2014)4月21日 シャンティ山口 理事会(議事録参照)
- ・5月03日 会員・支援者あて総会案内資料発送
- ・5月06日 平成26年度地球環境基金助成金内定説明会(東京)
- ・5月12日～5月26日 プロジェクト調整現地訪問(報告書参照)



ホイドウア村役員会(水道開発)



水道ルート踏査



ホイブム村住民会議(苗木用地調査)



ホイブム村(昨年植栽ラムマイ)



2年目の苗木ラムマイ結実



植栽5年目のマンゴー収穫時期

- ・5月22日 ホイドウア村飲料水枯渇緊急対応工事着手(報告書参照)
ホイドウア村 GMOトウモロコシ栽培のため森林伐採した結果飲料水の枯渇の被害が発生し緊急対応を余儀なくされ材料支給で着工に踏み切った。(応急措置のため今後の恒久対策が必要です。)
- ・5月28日 平成26年度地球環境基金助成金交付申請書提出
- ・5月30日 シャンティ山口平成26年度定期総会(議記録・ニュースレター第115号参照)
- ・6月03日 山口県知事あて平成25年度活動報告書提出(資料参照)
- ・6月11日 山口法務局あて平成26年3月31日財産変更登記申請書提出(資料参照)
- ・6月18日～7月14日 プロジェクト調整現地訪問(報告書参照)



苗木(ラムマイ・マンゴー)搬入運搬



配布作業



配布作業



植栽 (マンゴー)



植栽 (ラムヤイ)



ホイプム村農業センター 苗木植栽後の肥料として微生物発酵のポカシ作り「50パーセント発酵」(マンゴー皮)・(バナナ実)を試作しました。(センタースタッフピパット君の担当で経過は順調に仕上がっているようです。)

平成 26 年 7 月 2 日～7 月 4 日 スタッフ研修

出張年月日： 2014.7/2～7/4

- 研修地： 1. MunToon(山岳民族による自然林利用のコーヒー栽培地)
 2. DoiAngKhang(国王プロジェクトでの各種栽培)
 3. MaeSalong(中国系タイ人による村ぐるみお茶の生産流通地)

1. MunToon(山岳民族による自然林利用のコーヒー栽培地)

タイのコーヒーは、輸出と大都市の消費のみであったが、テレビでの「ネスル」社の宣伝効果も相乗し、国内生産も増加し全国の需要も急激に増えつつある。近年、北タイで「アラビカ種」の生産が始まり品質・評判がよくタイ人の消費がエスカレートしている。

日本でも「アラビカ種」は、普及が始まり人気も上昇中である。北タイ地方でも喫茶店も増え、飲料始めた人も目立ちこれから需要も多くなると見込む。

自然栽培、近年収穫が安定し品質に加えオーガニックとして市場に出始めた。(成功例)

谷間の自然林を利用した栽培地として、標高 800 メートル以上(病虫害被害がほとんどないため無農薬栽培)が適地として栽培されている。



自然林の中での栽培状況



結実状況



収穫の一部は、脱皮・乾燥・焙煎加工され地元の観光地で特産ブランドとして飲料・お土産販売されている。(私も、Espresso と Latte を飲んだ、日本人には、日本茶感覚で(特別な癖がなく)なじみやすい。日本でおなじみのブランド感覚はなく香りも味も淡泊でした。)

2. DoiAngKhang(国王プロジェクトでの各種栽培)

日本に関連のあるものや、日本原産の樹木など各種栽培、商品としてバンコクに送り出している。



日本原種の梅の栽培



柿の栽培

3. MaeSalong(中国系タイ人による村ぐるみお茶の生産流通地)

中国系タイ人による町(メーサロン)お茶の栽培で町中が、関わっている



お茶畑



村中、お茶畑生産・加工・販売まで行い、お茶で生計を維持している。(主としてウーロン茶加工)



・7月9日 タイいすゞからのプレゼント(ポロシャツ・Tシャツ・帽子など)(3回目)

大亀さん・横山さん・シリワンさん

タイいすゞのみなさん お元気でお過ごしのことと思います。

プロジェクトも順調に成果を上げ、ホイブム村の人たちも過酷な状況の中、将来への希望を持つことができ、大変喜んで毎日頑張っています。

本日、チェンカム郵便局から連絡がありさっそく荷物を取りに行きました。

皆様のご厚意に感謝するとともに大変うれしく村の人たちに代わってお礼を申し上げます。

ありがとうございます。

早速、スタッフよりホイドウア村に届けます。(ホイドウア村は、ホイブム村と同様な境遇の村で、保育所も生活もすべてが遅れています。トウモロコシ栽培による森林伐採で飲料水の枯渇が生じ年々減少のあげく3か所の水源のうち2か所が出なくなりとうとう困り果て緊急支援として材料支給で村人全世帯によるパター(協働)を行いました。(写真参照)

助成金など資金繰りができれば、保育園のトイレの設置や飲料水の改善などの農村開発ができればと模索しています。)

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。 シャンティ山口 チェンカム事務所 佐伯



“ISUZUのみなさんありがとう”

・7月20日毎日新聞掲載「放っておけない苦難の人を」(ニュースレター第116号参照)

・8月20日~8月29日 スタディツアー[タイ国クーデター後の政治情勢不安から中止]

・8月31日~9月13日 プロジェクト調整現地訪問(報告書参照)

調査漏れの農地や出稼ぎ世帯の再調査を実施しました。



植栽調査



農地調査



訪問聞き取り調査



微生物発酵による「ぼかし」から堆肥作り完成



⇒⇒⇒ 施肥

・9月01日シーカーアジア財団訪問（事業調整協議）

シーカーアジア財団と今後の支援方法や自立の促進展望などの話し合いをしました。（来年度からの方向性など理事会に報告します。）

・9月05日 シャンティ寮 生活状況

これから乾期に入るため野菜を中心に種まき作付けを予定しています。稲刈りは11月末頃から12月始めにかけて収穫します。今年も病害虫も少なく良質米がとれそうです。学校では寮生全員が成績優秀でスポーツなどの課外受業もトップクラスにいます。



寮生現況



農場看板更新



草取り状況



農作業風景



農薬散布



中間期保護者面談

・9月06日 20thフレンドリーファーム現況

山林の約半分にマンゴー・ラムヤイの苗木を植え終わりマンゴーは、今年度初収穫しました、これから年々増えますが市場に出せるには、後3年は必要です。ラムヤイは、来年初生りで収穫は、4年後となる見込みです。



マンゴー苗木追加植栽



花芽への殺虫剤散布



管理表示板設置予定箇所



完成の看板

・9月28日 ESD・ユネスコ・スクール研究会出講 (事務局長)

「世界をつなぐ持続可能な開発のための教育」

主催：広島大学大学院教育学研究科ユネスコ・スクール委員会

会場：広島大学

中国新聞掲載

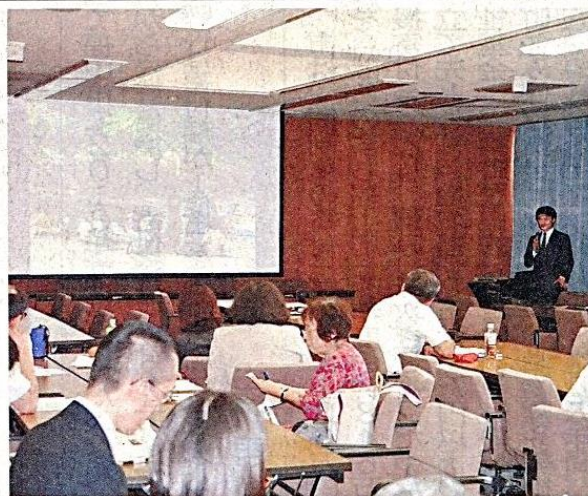
中国新聞 2014年(平成26年)9月29日 (月曜日)

「ESDは身近なところから考えるのが大切」と強調した。研究会は、広島大

国連教育科学文化機関(ユネスコ)が進める「持続可能な開発のための教育(ESD)」を考える研究会が28日、東広島市鏡山の広島大であった。県内の小中学、高校の教諭たち約40人が参加し、貧困解決の実践例や、人権問題の授業での取り上げ方を学んだ。国際協力に取り組み周南市のNPO法人シヤンティ山口の佐伯昭夫事務局長(69)は、タイの少数民族の衛生環境を改善するため、現地でトイレを作る活動を報告。広島大付属中・高の日浦美智代教諭(49)は、食品の廃棄や児童労働の実態を教える授業の方法を説明し「ESDは身近なところから考えるのが大切」と強調した。

ESD 授業進め方学ぶ 広島大で研究会

学院教育学研究科ユネスコ・スクール委員会(新山創)が主催した。



ESDについて理解を深めた研究会

・11月04日～11月14日プロジェクト調整現地訪問 (報告書参照)

今回は、7月実施の苗木配布植え付け後の状況調査の未調査や用地準備の都合で植え付けが遅れた世帯に対する補足調査を実施しました。農業学習センターでの収穫物の確認とできればえや味見をしました。バナナについては、常時収穫が見込めるようになりました。

農地状況調査



ラムヤイ植え付け (稲との共作)



稲の脱穀状況 (ラムヤイとの共作地)



トウモロコシからマンゴーへの転換地



トウモロコシからゴムへの転換（小豆と共作）



農業センターでの初収穫（アボカド）



農業センターでの初収穫（オレンジ）



居住地周辺の状況（GMO トウモロコシに換わりマンゴー・ラムヤイなどの苗木への転換植栽が目立つようになりました。）



ショウが栽培



ホイブム村水路・道路補修作業



「みんなで協働」乾期の収穫物の運搬に支障ないよう備えます。

・11月16日 しゅうなん元気もの交流フェスタ！ シャンティ山口出展

主催：周南地域市民活動団体等交流会実行委員会

会場：山口県周南総合庁舎さくらホール



下松・光・周南・中山間地域から30団体が参加交流

☆ちよるる、ピエロのPちゃん、笑顔の殿様 達も参加・活動状況パネル展示・体験教室・バザー等で一日盛り上がりました。

平成26年度(2014年) ダイジェストレポート(後期分)

2015.03.31

報告事項

- ・11月28日 平成26年度地球環境基金助成活動団体報告会(参加)
- ・12月11~13日 東京ビッグサイトにシャンティ山口の「エコトイレ模型」が出展



地球環境基金 情報コーナーより転載



クンガムラン村設置の「エコトイレ」 最終処理装置の製作状況

- ・12月8日、9日 ホイプム村住民農業研修旅行(報告書参照)

訪問先: チェンライ県チェンコン郡ウィエン準郡ホイメン村

農業開発推進プロジェクトはホイプム村の住民50名、スタッフ3名の計53名を対象に、ミカン園への見学研修を実施した。研修に参加したホイプム村住人は、ミカンの栽培法、果実の収穫や様々な病気について学習、質問を行った。またミカンの樹の発育不全から回復させる方法と正常な発育状態になることや農薬の散布方法、水が豊富な土地が非常に適していること、その他にミカンは市場において需要が大きい果物であることも学習した。



- ・1月25日 山口県国際交流協会創立25周年記念事業(出展)

国際活動フェスティバル2015 山口から世界一周!? せかいひとまわり



シャンティ山口展示ブース



- ・2月5日 地球環境プロジェクト 地域巡回医療・保健衛生セミナー(ホイプム村)





研修内容 1、シフテリアと破傷風に関する知識の講習 2、正しい歯磨き方法の講習 3、身体管理法の講習

・2月9日 広島大学附属中学生手作り「刺繍絵本」ホイドウア村保育所訪問 (報告書参照)



ホイドウア村 園児によるお絵かきの発表(クレパス・台紙のプレゼント)



手作り刺繍絵本の読み聞かせ

・2月28日シャンティ学生寮「卒業生を送る会」 ・3月16日～18日「入寮生家庭訪問」



シャンティ寮生 卒業生を送る会



曹洞宗青年会からのプレゼント

・2月26日～3月26日 地球環境プロジェクト年度末調査
・3月9日～14日 ホイプム村住民アンケート戸別訪問調査



「アジア農村ネットワーク岡山」現地訪問



保健衛生アドバイザー家庭訪問



トウモロコシ栽培からマンゴーへの転換地

★★★★シャンティ山口への「ご入会」、「ご支援」のお願い。

募金(活動・教育・女性自立・環境衛生・その他)

どうぞよろしくお願いいたします。★★★★

2015.03.31